

総合計画審議会（書面開催）委員意見【当日】

委員氏名		意見	担当課	回答
鈴木ひとみ 委員	-	書面では、各委員の意見、担当課の回答を読むだけとなり、「話し合い」にはならない。 やはり、議論のできる場を作ってほしい。	企画課	本年度の館山市総合計画審議会は、市の最重要審議会として、対面で議論をする場としての開催を前提に進めておりました。しかし、夏季の新型コロナウイルス感染症急拡大によって、やむを得ず書面開催にする判断をいたしました。次回の総合計画審議会は、可能な限り議論できる場として開催したいと考えております。
溝口かおり 委員	-	「事業の効果および課題等」において「（施設の）老朽化」「人口減少」「高齢化」の言葉が目につきました。明らかに全体についての課題と思われます。 「施設等の老朽化」について、当然ながら財源は限られますが、「リノベーションまちづくり」を推進する館山なら「アイデア」で勝負したいところです。統廃合により今後増えるであろう廃校の施設の活用、それこそ「空き家」を利用することも視野にいれても、と思います。	企画課 雇用商工課 行革財政課 建築施設課	ご指摘のとおり、「（施設の）老朽化」「人口減少」「高齢化」は、館山市全体としての課題であります。その中でも、公共施設の計画的・効率的な利用は、総合計画だけでなく、総合戦略にも位置づけた重要な課題であり、また、「空き家」の問題も看過できないものとなっています。 施設の利活用のみならず、市内のあらゆる資源の有効活用を含め、多角的な視点から地域の活性化を努めてまいります。
溝口かおり 委員	【後期基本計画】 91 92 国際交流・地域間交流の促進	コロナ禍で継続がたいへん難しい施作ではあると思いますが、南房総市や鴨川市をみると、コロナ禍でも、市内在住外国人との交流や情報交換など、活動がとだえることなく継続されているようです。 また、今後の事業展開として「これまで続けてきた姉妹都市との交流事業」とありますが、より若い世代による新しい形での国際交流を模索していく必要があると思います。	市民協働課	世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での人的交流を行うことができない日々が続いていますが、姉妹都市間の学生によるオンライン交流や、姉妹都市へのグリーティングカードの送付、お見舞い対応など、日頃から現地の様子を気にかけ、継続した交流を実施しているところです。 今後も多文化共生、異文化理解を含め、館山国際交流協会と連携を取りながら、国際交流のあり方について検討していきたいと考えております。

総合計画審議会（書面開催）委員意見【当日】

委員氏名		意見	担当課	回答
溝口かおり 委員	【後期基本計画】 136～139 新たな雇用の創出・就業支援の強化	<p>IT系企業のリモートワークやワーケーション誘致もトレンドですが、現実、館山へ移住を考えるも仕事先がなくあきらめる人が少なくない中、有効求人倍率は2倍とのこと。観光業をふくむ特定の職種において人手不足になっている、という話を以前から聞いております。市として基幹産業を観光と考えるなら、ひとまずは観光業における雇用がすすむよう、なんらかの対策を取れないものでしょうか？</p> <p>観光業において雇用が進めば（質の高い仕事先が見つかるなら）→観光業の質も上がり（移住を考える人も増加し）→観光のより一層の振興（人口減の抑制）、という好循環が期待できそうですが。空き店舗を利用し、リノベーションしての起業なども、にぎわいの創出としてある程度は期待したいところですが、人口が減少の一途を辿る地域において商店や飲食店ばかりが増えても、シーズナルな観光客の集客をのぞき、対人口比率を考えると飽和状態となる心配もあります。そう考えた時、安易な「起業」は、一過性な雇用創出にとどまり、撤退したのちにはさらにさびれた空き店舗が残されるという懸念もあります。</p> <p>そしてやはり、農業、水産業といった第一次産業への就労支援をしっかりといただくと、館山の大切な観光資源である美しく健康な海や里山が維持でき、また、何かあっても疲弊しない、地産地消のできる健全な市となりうるのではないのでしょうか？コロナ下、自然への回帰といったところに注目が集まり、農業などに興味を示す若者が増えてきている感があります。</p>	雇用商工課 観光みなど課 農水産課	<p>地域における魅力ある安定した雇用の創出は、優先すべき喫緊の最重要課題であると認識しています。</p> <p>ハローワーク館山管内の有効求人倍率が2倍を超えている中、特定の職種に偏った人材不足の解消や、求人・求職のミスマッチの解消への対応につきましては、即効性のある特効薬はなかなかありませんが、関係機関等との連携を密にしながら、頂戴したご意見も踏まえまして、さまざまな打開策を検討してまいります。</p> <p>ご意見いただきました雇用の質については、観光業のみならず全ての業種において、各業界及び事業者が魅力ある雇用機会を創出していただくことも肝要と考えます。</p>

総合計画審議会（書面開催）委員意見【当日】

委員氏名		意見	担当課	回答
溝口かおり 委員	【後期基本計画】 151 市街地の利 便性向上 東口 駅前広場の整備	<p>リノベーションによるまちづくりが一過性なものにならないよう、効果のある大胆な施作を期待します。まずは、市民に足を運んでもらうには、無料または安価で容易に車を止められる場所が必須だと考えます。海外では一方通行の道路の道路脇に路上駐車できるように整備されているところも多いです。駅前広場からはちょっとはずれますが、極論をいえば（以前も意見させていただきましたが）、銀座商店街を一方通行にして片側を路上駐車できるスペースとして確保する、くらいの大胆な計画が必要と思われます。</p>	都市計画課 雇用商工課	<p>館山駅東口については、現在、駅前広場全体について利用者の安全性・利便性の向上を目的とした改修計画の策定を進めているところです。</p> <p>昨年度から、房州第一ビル前駐輪場の跡地において、リノベーションまちづくり事業によりコミュニティスペースとして活用が始まっており、今後も魅力的な賑わい空間となるよう取り組んでいきます。</p> <p>ご提案の路上駐車スペースの整備については、ご意見として承りますが、代替となる道路が無いことや、沿道の利用状況を考慮しますと、現状では整備は困難であると考えますが、引き続き有効な施策について検討していきます。</p>
溝口かおり 委員	【後期基本計画】 188 資源循環型 社会の構築 ご み減量化・再資 源化事業	<p>環境保全への関心が高まる中、また、ごみ処理施設老朽化への対策を考えると、いかに「燃えるゴミ」を減らすかが課題と考えます。</p> <p>個人的にコンポストを導入しようと思い、インターネットで調べてみると、「手作りコンポスト」や「キエーロ」を推奨し、その使い方、作り方をホームページで紹介している自治体が複数ありました。</p> <p>館山市でも、厳しい財政から補助金を出すのみでなく、市民への啓蒙活動をもっともっと行っていいのではないかと思います。敷地にゆとりある一軒家であれば、高価な電気を利用したコンポストではなくとも自宅の庭先での処理が十分可能です。ぜひ、電気も不要な「自然にやさしい」コンポスト、キエーロを普及させていただきたいです。</p> <p>また、ごみの分別について、たとえば今年度にあった「雑紙」についての広報は、参考にさせていただき、我が家でもさっそく実践しています。同様に、他のリサイクルごみについても、何度でも、しつこいくらいに市民に情報を提供することで、周知も広まると思います。</p>	環境課	<p>環境保全は地球規模の全人類が抱える課題であり、ご指摘のとおり、住民の自発的な取り組みが不可欠です。また、「電気不要」「自然にやさしい」という視点も持続可能な社会づくりを推進する上で重要だと考えます。</p> <p>「コンポスト、キエーロを普及」「啓蒙」のご指摘について、今年度の「生ごみ処理機購入費補助金」は、生ごみを資源化することでごみ出しの機会を減らし、新型コロナウイルスの感染抑制や可燃ごみを減量化するとともに、市民の皆様が資源循環の取組を身近に感じていただくこと、当事業のロコミも含めた様々な媒体における広報効果等により、市民の皆様が循環型社会の形成に目を向ける機会にさせていただくことも目的の一つとし、実施しております。この中では非電動式のコンポストやキエーロも補助対象としており、それぞれ市HPに写真で例示しております。</p> <p>ごみの分別、減量化、処理量、処理費用、適正処理等について、広報、HP、SNS等で発信していますが、引き続き、市民の皆様と、資源循環の取組について情報を共有したいと考えます。</p>

総合計画審議会（書面開催）委員意見【当日】

委員氏名		意見	担当課	回答
溝口かおり 委員	地方創生推進交 付金事業	<p>「リノベーションまちづくり事業」は、若い世代の人たちが流動的に館山に出入りし、地元の人たちと関わり、新しく街を作り上げていくエネルギーを感じます。高校生など、さらに若い世代が関わっていくシステムもすばらしいと思いました。</p> <p>ぜひ継続していただき、この元気な輪が広がっていくことを期待します。</p>	雇用商工課	<p>リノベーションまちづくり事業は、新たなまちづくり人材の輩出を目的の一つとしています。今後も、若い世代が、館山に帰ってきたいくなるような施策を実施していきたいと考えています。</p>